

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 音楽 (一般) 】

項目	書名 中学校音楽 音楽のおくりもの (教育出版)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり	○学習指導要領に基づいた3つの柱を設定し、〔共通事項〕を窓口に音楽を捉えて各教材が示されている。また系統的・発展的に学習し音楽を愛好する心情を育て、音楽に対する感性を豊かにするための教材や解説が示されている。 ○我が国や諸外国の音楽文化について理解できるよう、幅広い分野から教材を取り上げ、日本と他国の音楽文化の共通点や相違点を探る教材が掲載され、体験を重視した学習活動が取り入れられている。
特色	<p data-bbox="226 548 1430 593"><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p data-bbox="226 593 1430 734">○1年生の教科書では「Let's sing!」を設け、歌う時の姿勢、息のコントロール、母音の発音から変声と混声合唱についてイラストと説明が示されている。 ○各学年に「指揮をしてみよう」を設定し、表現の基礎的な技能の習得や創意工夫して表現するための解説が示され、発達の段階に応じて習得できるように工夫されている。</p> <p data-bbox="226 734 1430 779"><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p data-bbox="226 779 1430 913">○表現したいイメージのヒントとなる吹き出しが示され、思考力・判断力・表現力につながる質問や助言が示され、知覚・感受したことを直接書き込めるようになっている。 ○「どんな特徴があるのかな？」では音楽を形づくっている要素を感じ取って聴き、言葉で説明する活動に各学年で取り組めるようになっている。</p> <p data-bbox="226 913 1430 958"><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p data-bbox="226 958 1430 1025">○各教材には目標が示されており、「Let's Try!」「伝えてみよう」「音のスケッチ」のコーナーでは主体的に学習を進める構成になっている。</p> <p data-bbox="226 1025 1430 1070"><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <p data-bbox="226 1070 1430 1279">○〔共通事項〕を窓口に捉えた学習の目標が3つの柱に分類されており、教材ごとに〔共通事項〕を示し、系統的・発展的に学習する構成になっている。 ○我が国の伝統的な歌唱については民謡を取り上げ、声の出し方やのぼし方の特徴を感じ取ることができる民謡譜が掲載されている。 ○各学年に「音のスケッチ、創作のページ」を設けてリズム創作から始まり、段階を追って教材が選択され、活動のポイントに沿って学習に取り組む構成になっている。</p> <p data-bbox="226 1279 1430 1323"><音楽文化についての理解を深めさせる工夫></p> <p data-bbox="226 1323 1430 1464">○「さまざまな音楽文化」の中で、「日本とアジア」、「日本と世界」の音楽の特徴を聴き取り、音楽文化の共通点や相違点を探る教材が設定されており、日本、アジア、そして世界の音楽文化を知ることができるようになっている。 ○民謡や能の謡が体験できる楽譜が掲載され、表現と鑑賞の関連が図られている。</p> <p data-bbox="226 1464 1430 1659">資料</p> <p data-bbox="226 1464 1430 1659">○日本や諸外国の音楽文化や舞台に関わる情報、「音楽著作権とインターネット」「アウトリーチ・教育活動・音楽療法」を掲載し、音楽を多面的な角度から学習する工夫がされている。 ○教材の特徴が捉えやすくなるよう、写真や図が多く掲載されており、様々な音楽文化や歴史に関する情報が示されている。</p> <p data-bbox="226 1659 1430 1771">表記・表現</p> <p data-bbox="226 1659 1430 1771">○歌唱共通教材は、楽譜、縦書きの歌詞、ピアノ伴奏譜、写真が掲載されている。 ○キャラクターを使って吹き出しが示され、キャラクターが生徒に問いかけたり説明したりしている。</p>
総括	○3つの柱が設定され、活動のポイントが見開きの左上に示されている。また鑑賞や創作で言語活動の充実を図るためのワークシートが掲載され、言語活動の充実を図っている。また、創作の教材が豊富で発展的な学習や音楽を多角的に幅広く学習ができるよう工夫されている。 ○「君が代」の説明が丁寧にされており、学習指導要領との関わりが明確になっている。

第12 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 音楽 (一般) 】

項目	書名 中学生の音楽 (教育芸術社)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり	<p>○「音楽学習MAP」では、学習指導要領に示された学習内容と各教材との関係や、歌唱・創作・鑑賞といった分野を横断した関連図が示されている。また、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育成するために、「知覚・感受」「思考・判断」の一連の過程を考慮した教材と資料が掲載されている。</p> <p>○我が国や諸外国の音楽文化について理解できるよう、幅広い分野から教材を取り上げ、音楽とその背景や生活とのかかわりに関する資料を掲載するとともに、体験を重視した学習活動が取り入れられている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各学年に「確認しよう」のコーナーを設け、ビンゴゲームやリズムゲームを音符や休符や諸記号について、繰り返し確認、学習する構成になっている。</p> <p>○各学年に「My Voice!」「指揮をしてみよう!」のコーナーを設定し、表現の基礎的な技能の習得や創意工夫して表現するための解説が示され、発達の段階に応じて習得できるように工夫されている。</p> <p>○巻末のページには楽典資料が掲載され、基礎的・基本的な内容の確認や反復学習が適切にできるよう配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○活動のヒントとなる吹き出しには、思考力、判断力、表現力につながる質問や助言が示され、「Challenge!」では豊かな感性を育む補足的な学習活動が用意されている。</p> <p>○「ここが分かればGrade up!」は曲の構成をパートの役割、〔共通事項〕と関連させながら思考・判断する場面を設け、直接書き込めるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「指揮をしてみよう!」を各学年に設け、発達段階に応じて生徒が主体的に学習活動に取り組めるよう配慮されている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <p>○各教材に学習の目標と学習指導要領に示された〔共通事項〕を〔学習の窓口〕としてマークで示し、〔共通事項〕を学習の支えとしながら、全学年を通し「指揮をしてみよう」「My Voice」等の教材が、系統的・発展的に構成されている。</p> <p>○各学年に創作「My Melody」Let's Greate!」を設定し、学習内容や活動の手順、個人やグループの活動場面を示し、段階を追って学習に取り組む教材が選択されている。</p> <p><音楽文化についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○我が国や世界の音楽文化について、音楽の特徴やよさ及び多様性を感じ取るために西洋音楽史を日本の歴史から捉えるコーナーが設定されている。</p> <p>○「心の歌」や「歌い継ごう日本の歌」「心通う合唱」コーナーを設け、生涯を通じて歌い継ぐべき唱歌や世代間の交流を意識した歌唱教材が選択されている。</p>
資料	<p>○学習マップにより、教材と学習内容の確認が分かりやすくなっている。</p> <p>○各曲の楽譜の最終ページの右下に重要な演奏記号や用語等がページとともに記されているので、すぐに調べることができるように配慮されている。</p> <p>○日本の伝統芸能では、場面の様子と写真が一致している。</p>
表記・表現	<p>○歌唱共通教材は、楽譜、縦書きの歌詞、ピアノ伴奏譜、写真が掲載されている。</p> <p>○教材に関連する音楽用語や記号が該当するページに示されている。</p> <p>○キャラクターなどの間いかけにより、考えるポイントが示されている。</p>
総括	<p>○教材ごとに〔共通事項〕と関連させ、学習の目標になっている。歌唱、鑑賞、創作の教材がバランスよく設定され、発達段階に合わせ系統的に学習活動ができるよう配慮されている。また学習内容や活動の手順が理解できるように文字情報や図版等、ユニバーサルデザインを意識した紙面づくりに配慮されている。</p> <p>○「歌い継ごう日本の歌」の「ふるさと」は全校合唱用として、発達段階に合わせて混声二部→混声三部→混声四部の楽譜で掲載されている。また、命の大切さ、思いやりの心など道徳教育に資する歌唱教材も掲載されている。</p> <p>○学習内容や活動の手順が理解できるように、文字情報や図版等、分かりやすい見やすく工夫されています。</p>